

松之山地域の取組みについて

(総合的な探究の時間)

1 目的

松之山地区における教育に関する研究に長年携わり、地域の文化向上への意志と団結力、学習意欲を高める意図として「書」や「絵画」を尊重した教育文化を、内外へ発信してきた新潟大学柳沼宏寿教授と、松之山地域協議会五地区による自慢できる取組を聞くことにより、探究学習の課題設定や課題解決に向けた学習とする。

2 日程 令和2年7月15日(水) 6・7時間目

講演会 新潟大学教育学部 教授 柳沼 宏寿 様
下川手集落の『学術技倆』に見る子どもの戦争表現



取組自慢 松之山の“スゴイ”取組み 自慢大会」紹介

1 松之山地区協議会 「下川手集落の取組み」

【概要】高齢化率 60%の下川手集落では、新潟大学のダブルホームプロジェクトと連携し、さまざまな事業で大学生の協力を得て活動。地元の担い手育成のために歴史文化、自然特産品開発にも力を入れています。

2 松里地区協議会 「秋の風物詩！ヤナギバヒマワリ」

【概要】「みんなが喜ぶ」「地区のシンボルにしたい」と一人の思いから有志が集まって広がる花上活動を実施しています。携わる人たちの「好き」「やりたい」が活動を後押し、絆と元気が生まれました。

3 布川地区協議会 「つながる」

【概要】無理をせずに活動しつつ、状況の変化を察知して常に見直しの意識を持ち自ら動く！県外の大学や出身者グループとのネットワークによる関係人口づくりだけでなく、地域のつながりづくりにも力を入れています。

4 浦田地区協議会 「地元のスーパーを絶やすな」

【概要】 地区唯一のスーパーマーケットがなくなる危機に、女性陣がおとうさんたちのお尻を叩き、旧 JA の施設を地区運営のスーパーとして立ち上げました。黒字経営で、お買い物バスは地区内だけでなく地区外へも運行しています。

5 三省地区協議会 「三省は小粒でもピリリッと辛い！」

【概要】 旧小学校（現三省ハウス）が活動の拠点で、かつ、住民の心の拠り所でもあり、求心力が絶大です。人口が少なくても、必要なこととはとにかく「チャレンジ」。若者たちの独自の活動も活発です。広報にも力を入れており、地区の活動をしっかり発信しています。

